事業所名　グループホーム 虹の里 伊自良

作成日：　平成　25 年　9月　18 日

# ２　目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

**【目標達成計画】**

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目　標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4(3) | 運営推進会議の開催頻度が十分でなく、ご利用者のご家族の参加が少ない。 | 開催頻度の向上と、ご家族の参加しやすい会議作り。 | これまでの会議の形にとらわれず、イベント等に連動させたり、新たな参加者に加わってもらうなど新たな形での開催を模索していく。また、ご家族が参加しやすいように、土日祝の開催を含めて検討していく。 | 2　か月 |
| 2 | 10(6) | ご利用者の生活状況の報告が、面会時の面談、電話、メール等での個別連絡に偏っているとともに、全体的な活動報告も文字情報によっている。 | ご利用者の生活状況報告及び活動報告のビジュアル化の推進。 | 四季折々の活動状況や日常的な生活状況等の画像情報を盛り込んだお便りの発行を定期化し、ご家族に一目でわかるような形での提供を模索する。 | 3　か月 |
| 3 | 33 | 重度化・終末期の対応方針について、主に入所時と、ご利用者が重度化したり、終末期に近づいている時に説明しているが、継続的な対応方針の共有ができていない面がある。 | 重度化・終末期の対応方針に関する早い段階からの継続的な話し合いと共有化。 | ケアプランの更新時等に繰り返し話し合いを持ち、ご家族の意見を傾聴しつつ、対応方針の共有化を図っていく。 | 6　か月 |
| 4 | | | | | か月 |
| 5 | | | | | か月 |

注1）項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。
注2）項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。